

令和2年度 学校関係者評価報告書

愛媛県立大洲農業高等学校

学校番号 31

評価実施日		書面開催（令和3年2月3日資料送付）	
	氏名	所属等	備考
委員	青井 斗志男	学校評議員（JAたいき・総合企画室長）	団体職員
	宇都宮 幹人	学校評議員（老人保健施設フレンド事務長）	会社職員
	上田 弘	学校評議員（大洲隣保館 館長）	
	久保 治美	学校評議員（大洲市立東大洲こども園 園長）	公務員
	丸井 幸造	学校評議員（愛媛県農業指導士会 副会長）	
	竹本 親由	大洲市立喜多小学校 校長	
	櫛部 昭彦	大洲市立大洲北中学校 校長	
	清水 博幸	肱北公民館 館長	
	川本 陽介	大洲農業高等学校 PTA会長	
	新口 裕子	大洲農業高等学校 PTA副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学校経営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の為、活動についてはかなり制限されていたようだ。そのような中、行事等については人数等の制限を行った中、縮小しながらも様々な活動が行われていた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対応をされながら、日々の行事を実施されていることがホームページを通じて知ることができた。なかなか学校との交流ができない時にこそ、ホームページを有効に利用し、情報発信されていると思った。 ・定期刊行物が地域（若宮、田口、中村、徳森）に回覧や配布があると良い。 ・感染症で活動が制限される中、学校経営は難しいことが多かったと思う。ホームページなどにより教育活動を公開するなどして地域に開かれた学校としての努力が伺える。 ・新型コロナウイルス関係により、学校内外の行事やイベント等への参加にも大きな影響がある中で、出来る範囲で最大の努力をされていると感じている。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応で、大変御苦労されたことと思う。その中で様々な工夫をされて充実したものになっていたと感じた。 ・新型コロナウイルス感染症により、学校及び地域行事等の多くが実施できず、さぞかし御苦労されたことと思う。そんな中でも、農業祭が規模を縮小してでも実施できたことはよかったと思う。また、ホームページがよく更新されており、学校の様子がよく分かった。 ・コロナ禍という困難な状況にあっても、全校あげてベストを尽くされている。達成度はともかく素晴らしいことである。また、生徒の活動の成果や、農業高校らしさの伝わる外へのアピール（正門や外壁・道路への飾りなど）があればよいと思う。 ・PTA活動がコロナの為ほとんど開催されず、私自 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のため、本校が積極的に行っている地域と連携した活動が制限される1年であったが、その中においても感染症対策を徹底して行うことにより、農業祭や公民館等でのフラワーアレンジメント教室などを開催することができた。次年度は、感染症の状況を鑑みながら対策を徹底して行うことにより実施できるようにする。またICT機器が整備されたので、リモートによる地域との連携活動についても模索をする。 ・開校日においてはホームページの更新を必ず毎日行い、学校の取組について積極的にインターネット上に発信していく。 ・定期刊行物の近隣の地域への配布・回覧については地域の公民館等に連絡を行い可能かどうか検討する。 <p>・本部役員の方々がオンラインでの会議を繰り返し行</p>

<p>身、子育て最終章の（末子が高校卒業）最後のPTA活動が何もできず、無念の限りであった。</p>	<p>い、双方向での情報交換を進めることができたため、スムーズな理事会の運営に繋がった。また、新役員選出の筋道を作っていただいた。来年度は校内理事も交えて情報交換を密に行い、実施可能なことを模索しながらPTA活動を行っていききたい。</p>
<p>2 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなICTを利用した教育を行っているのかわからない。具体的なICTの活用を教えていただくと助かる。 ・ICTを活用した授業や研修会等は今後さらに増加し、自宅でのリモート学習等も実施されとなれば、先生方の御苦労は多くなると思う。 ・基礎学力の定着は、個々の学力に応じて、スモールステップで粘り強く、機会を設けて継続を。 ・ICTを積極的に活用したことで学習指導の安定した保障となり、それは生徒や保護者の信頼にもとつながったのではないかと。 ・ICTを活用しての授業等が新たに導入され、教職員の皆様は大変であったと思うが、生徒さんは戸惑いもある中、新しい取組みに楽しく授業を受けられた事と思う。 ・HPを拝見すると、農業高校ならではの授業や実習等の様子がよく分かる。生徒の学力や個性に応じた指導がなされ、一人一人を大切にもらっている様子が伺える。 ・授業参観も開催が見送られ、とても残念だった。ただ、年間予定には記入があったので、仕事の年休は申請していたにも関わらず、学校側から開催中止案内が届かなかったことは今後なくしてほしい。参加者が元々少ない（限られる）から、ナアナアになっている感じがした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、本校では授業で使用できるタブレット型端末（iPad）を26台整備した。また、学習支援ツールとしてロイロノート・スクールを導入している。 ・具体的な活用として、タブレット端末を使って実験、実習の操作方法の動画を見せながら授業を行ったり、音楽や体育などの実技を伴う授業においては、操作方法や競技の動き方について動画で説明するなどの活用を行っている。また、調理や食品加工の授業において、その様子を動画で撮影し生徒に見せたり、課題の配布や各授業担当者からの連絡に使用している。さらに、授業や実習の場面で生徒の活動の様子を生徒がお互いに動画で撮影し、ロイロノートを使って先生に提出し、評価に役立てている。 ・県が実施しているICT教育実践サポート研修会に参加し、リモートで授業を開催する一連の流れを研修している。12月から6回実施し、オンライン授業の仕方について研修を行った。次年度の授業においてその活用を進めていきたい。 ・リモートで実施された大会や会議も多くあり、生徒、教員も機器の扱い方について実践しながら学べたことも多かった。 ・今年度は授業公開日として5日設定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から2日しか公開できなかった。来年度も5日設定している。中止する際には保護者宛に連絡すると共に、HP等を使って周知できるようにしたい。
<p>3 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にお伺いした時の生徒さんの元気な挨拶や丁寧な言葉遣いは素晴らしいと思う。生徒さんの挨拶にこちらも元気をもらっている。 ・学校内に入る機会はほとんどなかったが、元気な挨拶はできていると思う。 ・世の中の情報交流が豊かになり、善悪の判断力が高まったので、高校生も良い傾向が出ている。悪（反社会性）は、世間に恥ずかしいこと、笑われる行為であることを教えて欲しい。 ・気持ちの良い挨拶ができているように感じる。生徒の規範意識が高まっている様子が見受けられる。 ・今年度は一度も学校内へ行くことができなかったが、学校外で見かける生徒さんは、身だしなみ（自転車のヘルメット着用も）・挨拶・マナー等、良くできていると感じる。 ・農業祭で迎えてくれた生徒の様子（あいさつや声かけ）を見る限り、「けじめと思いやりのある生徒」に育っていると感じた。 ・学校へ行くと、生徒たちがよく挨拶をしてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかなあいさつや正しい言葉遣いができるよう、登校指導や学校行事、普段の学校生活など、富士会活動とも協力しながら進めていきたい。 ・基本的な生活習慣の確立は、学習意欲や体力・気力の向上に繋がる。今後も粘り強く、指導していきたい。 ・校外における生徒の行動については、地域の方々から多くの意見をいただき、感謝している。今後も継続して大農生としての自覚を持った行動について指導したい。 ・校内の人間関係上のトラブルや不登校事案については、早期発見と他者理解に努力していきたい。また、お互いを尊重し、注意し合えるような意識を高めた。 ・県立学校のWi-Fi環境の整備に伴い、現状の指導方法の再検討が必要である。タブレットの導入を図りながら、先進事例を参考にし、多方面と協力し、生徒の実態に応じた指導方法を確立していきたい。 ・ヘルメット着用はほとんどの生徒ができているようだが、自転車の自損事故や接触事故は時々起こってい

<p>また、登下校時のヘルメットの着用も良くできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも気持ちの良いあいさつをどこでもしてくれる高校生。制服（女子）・カバンで大農生！とわかる事も日々多かった。JR駅近くに居住しているので、他校生とは違う！これからも続けてほしい。 	<p>る。交通安全に十分注意させるとともに、もしも事故に遭った場合には適切な対応ができるよう指導したい。</p>
<p>4 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動が制限される中でも、部活動やボランティア活動に積極的に取り組んだり参加したりしているとの生徒の皆さんの自己評価を拝見し、すばらしいことだと思った。 ・限られた生徒数、コロナ対応の中で、よく工夫・努力されている。 ・感染症の為、総体など実施できないことが多く残念だった。その中で生徒の意欲的な活動を評価して進めている大変さが伝わる。 ・部活動等についてもコロナの影響により大会が中止・縮小される中で、生徒さんがかわいそうと思ったが、そんな中でも、農業新聞や愛媛新聞、JAたいき広報誌等で生徒さんの活躍記事に頑張っているなど感じている。 ・部活動の、運動部・文化部ともよく頑張っている。野球部の人数が少ないのが寂しい。 ・部活動加入率を高める事も大事だとは思いますが、部活動以外にも高校生として学校ではできない事を体験できる大切な時期と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対応のため、今年度の県高校総体が実施されず、運動部の生徒は悔やまれる結果となった。高文祭への参加は25名であった。生徒数減少の中、部活動に励む生徒は確実に増加しており学校を元気付けてくれている。また、全校生徒の部活動加入率は、99%であった。今後も、粘り強く指導に取り組みたい。 ・今後も、積極的にボランティアに参加できる生徒を育てていきたい。 ・「運動部活動の活動方針」の導入に当たり、現在の部活動の在り方を見直し、方針の趣旨に沿った部活動の運営を実施・検討していきたい。 ・部活動における目標設定については、今後の推移や周囲の状況を踏まえ、検討していきたい。 ・部活動の統廃合については、現状維持できるよう努力していきたい。しかしながら、今後は、生徒のニーズはもちろん、地域の実態に合わせた検討も必要である。 ・生徒会や農業クラブ、家庭クラブなど本校生徒の活躍できる場面はたくさんあるが、それぞれの場所で自信を付けたり、居場所づくりを行ったりして、様々な場面で生徒がよい方向に変容していく仕掛けを作っていく。
<p>5 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職難の中でも就職希望者の決定率が100%となったことは先生方の熱心なご指導の成果と思う。 ・ぜひ、当高校の売り出しを行って欲しい。 ・この大変な時期に就職希望者100%の決定はすばらしいことと評価する。きめ細やかな指導が生徒・保護者に伝わっていることを感じる。 ・進路についてもコロナに振り回される事が多いと思う。例えば、今現在コロナで発生が多い地域への進学や就職を変更する生徒さんもいるのでは？と心配しているが、できるだけご本人の希望する進路に進んでほしいと願っている。 ・コロナ禍で就職も進学も大変だと思うが、生徒一人一人の希望がかなうようお願いする。 ・就職率も非常によく、感謝している。四年制大学への進学者もいるということで、幅広い進路選択ができるのも強みだと思う。 ・金銭目的ではなく、離職率を下げるための職業体験なども考慮していただきたい。就職の応募前見学はとても良かったと思うが、時期が限られ、3年生だけというのももったいない。1・2年生にも体験していただき、企業側にも「昨年来てくれたよね？」と言われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲商工会議所、南予地方局、公共職業安定所が、地元若者を定着させるための事業に熱心に取り組んだことで、今年度は約8割の就職希望者が地元企業への就職を決めた。応募前見学や就職セミナーに参加することで企業・職種をよく知ることができ、離職率も減少してきた。 ・管内希望者が多く、地域の企業の期待に応えることのできる人材の育成を目指す。 ・インターンシップの実施による職場理解、及び職種を理解することでミスマッチの防止に努めたい。 ・進路ガイダンスや講演会、応募前職場見学、企業訪問を充実させ求人確保に努め、生徒が希望する職種の選択肢を増やす。 ・本校生徒は、地域に育ててもらっているといっても過言ではない。今まで以上に企業と連携を綿密にとり、地域が期待する人材の育成を目指す。 ・四年制大学希望者に対して、早期から志望校等の情報を与えるとともに、補習体制の見直しを図りたい。 ・11月に地元企業を中心として説明会を実施し、職業選択の機会を増やした。 ・1・2学年においてもインターンシップなどを検討

<p>ような関係を築けるといいなと思う。</p>	<p>していきたい。</p>
<p>6 農業教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は大農そば一ずにご協力をいただいた。コロナが収まった際には、一緒に活動ができるとよい。 ・農業祭にお伺いできなかつたが、密に心配りされながら工夫されながら開催・成功されたこと、大変良かったと思う。生徒の皆さんも、イレギュラーなことで戸惑われただろうが、良い経験にもなったと思う。 ・全国表彰おめでとうございます。毎年大変な御苦労があると思う。農業祭では、様々な所に神経を使って感染症対策の工夫をされ、無事開催することができてよかった。 ・コロナ関係で活動したくても中止するしかなかった行事も多かったと思うが、平常に戻れば、農業祭・うきうきわくわくスクール他、各種教室などを楽しみにしている地域の皆さんも多く、早くコロナウイルスが終息してくれるように願っている。 ・南予唯一の農業高校という強みを生かして、進学や資格取得をはじめ、農業クラブの活動に取り組んでいただきたいと思う。また、農業祭は市民も多く参加して楽しみにしている方も多いため、是非継続して実施していただきたい。 ・農業祭で、生徒達の生き生きと販売する姿を見るのが今年はできた。とても良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対外的な行事やイベントを一部中止((大農うきうきわくわくスクール)(大農開放講座)(大洲エビネ展)(ウチョウラン展)(シンビジウム展)(大洲産業フェスタ)(えひめ・まつやま産業まつり))、または開催方法を変更(収穫感謝祭をリモートで実施)した。そのため、生徒の学習成果を高め、その力を発揮する場面が失われた。農業祭は、平日午後に規模縮小・感染拡大防止対策を行った上で、販売実習を中心に3日間実施した。来年度以降は、今後の社会情勢を踏まえて再開もしくは新たな形式での実施方法を検討していきたい。 ・農業クラブ活動においても、全国大会の中止を受けて、各種県大会が中止となり(第2回各種発表県大会はリモートで実施)、生徒の活躍の場面が失われた。来年度以降については、未定である。 ・一人一資格の取得を目指して、日々の学習に取り組んでいる。今年度は、対外的な活動が制限される中で資格取得に重点を置き、多くの資格を取得できた。 ・地域の将来を見据え、農場改革を実施した。日当たりが悪く、土砂崩れを起こしている果樹園(大洲市田口)を広葉樹林化するもので、条件不利耕作地の活用モデルとして、地元森林組合と連携し、薪や薪炭材、シイタケ原木生産、腐葉土材料の確保するものである。この取り組みは、SDGsにも対応しており、持続可能な社会の実現のために地元に着目した農業高校が取り組むべき課題解決方法を探る試みである。 ・農業高校に学ぶことに誇りを持つ生徒を一人でも多く育てていきたい。
<p>7 環境教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の環境美化には、力を入れられていると思う。清掃の時間だけでなく、校内にごみが落ちていたら率先して片付けるなどの教育をされているようにお見受けする。 ・今環境問題が社会で重要な課題なので、取り組みが大事であると思う。 ・私の子どもは3人とも違う高校へ行ったが、授業参観を比べても、教室が一番片付いていたのは大農だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の持つ特色を生かして、環境整備に努めていきたい。 ・国土交通省肱川河川事務所の河川愛護モニター活動を継続して取り組み、環境教育を行った。今後も継続していきたい。 ・美化委員の朝清掃や清掃5分前移動など落ち着いた学習しやすい環境作りに努めている。今後も決められた時間を有効に使い、主体的に環境保護活動のできる生徒の育成に努めたい。
<p>8 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が活気にあふれるようになる半面、ついていけない生徒等が出てくると思うので、早期発見・対応をよろしくお願したい。 ・他校や他の機関と連携して活動できている。 ・人権教育は、成果が顕著に目に見えることが難しいので毎日の過ごし方を整えていく地道な教育だと思う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、公開授業や講演会に支障があったことと思う。参加者が少なかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にいじめや教育相談アンケートを実施し、生徒の実態を把握していきたい。 ・生徒の人権意識が高められるように、人権委員には来年度も可能な限り、校外で行われる研修会や講演会等に参加させたい。 ・人権に関する公開授業に多くの保護者が出席してもらえるように、実施内容や案内等を工夫していきたい。

<p>のは、やむを得ないと思われる。 ・人権参観やプリントなど、様々な工夫が感じられた。</p>	
<p>9 情報教育 ・情報社会はコロナ禍によって急速に発展している。今後の社会情勢を見据えた指導をお願いする。 ・今後はますますICT機器の活用機会が増加してくると思う。先生方の工夫で、生徒の皆さんが興味を持って活用されるようになると思う。 ・情報活用能力はこれから必須であるのでよろしくお願いしたい。</p>	<p>・新年度より、生徒1人にPC1台が割り当てられることになり、その活用方法を研究していきたい。 ・今年度はICTサポート事業の研修会を3回行い、多くの教員が参加した。それ以外にも、教育センターの研修会や、県下の高校のICT活用研究の公開授業等に積極的に参加している。 ・SNSの利用方法や利用マナーの指導を引き続き継続していきたい。</p>
<p>10 図書指導 ・図書については、今後は媒体も大きく変わってくるが、昔ながらの紙媒体での読書も気持ちの集中の面で進めていただきたい。 ・情報教育や進路指導と連動した読書力、情報力を。 ・朝の読書活動は、読書習慣の第一歩なので大切な取り組みだと考えられる。 ・本を読むことが年々少なくなっている気がする。 ・図書館の本の充実はすばらしいと思う。</p>	<p>・ICT機器の導入に伴う今後の図書館活動の在り方について、様々な観点から考え工夫していきたい。紙媒体の本の良さも味わわせたい。 ・情報教育や進路指導をはじめとして、学校の教育活動と連携した図書館活動を目指したい。 ・朝の読書の時間をさらに充実させられるよう、年度当初から学校全体で取り組み、読書習慣の確立につなげたい。</p>
<p>11 学校保健・学校安全 ・作業を伴う授業があり、けが等のリスクがあるので、先生方のご苦労も多いと思う。 ・感染症対策で繰り返し情報提供・対応をされ、意識が高まったと思う。</p>	<p>・3密の回避、施設設備の消毒、実習前の手洗い・消毒など毎時間徹底して行ってきた。また、「保健だより」などの資料配布やホームページを通しての注意喚起により、感染症対策に努めてきた。今後も社会情勢を見ながら対策を講じていきたい。</p>
<p>12 学校行政 ・昨年の空調設備の設置に続き、トイレの洋式化は素晴らしいと思う。今後も施設の改善更新をお願いする。 ・施設設備が整って推進されているので高い評価になる。 ・家庭では洋式化が進み、トイレも洋式しか使用したことのない子ども達に、各階のトイレに1つは洋式化と小・中学校PTAでも言ってきたが、高校では洋式化が進んでいることは大変よいことだと思う。</p>	<p>・今後も順次トイレの洋式化を進めていく。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の環境を整えるため、施設の非接触対応化を進めている。</p>